

株式会社 菱沼

事業名 ベーパー回収型計量機導入による「環境低負荷・高安全・低臭」な給油所の実現

ベーパー回収型計量機を3台導入し「大気環境配慮型SS」の認定を取得



ベーパー回収型計量機

事業の背景・目的

ガソリン給油時に発生するベーパー（燃料蒸発ガス）は、「揮発性有機化合物（VOC）」と呼ばれ、人体に有害性があるなど大気汚染の原因となるほか、給油所内の臭いや引火事故の発生原因となりうる。そのためにベーパー回収型計量機を導入することで、環境配慮、ベーパー回収分の再給油によるコスト削減、安全性の確保、オープンウィンドウの促進による油外商品の販売強化、社会貢献の実現をめざす。

事業内容

「環境低負荷・高安全・低臭」な給油所運営を行うため、ガソリン給油所に発生するベーパー（気体）を再液体化する装置を搭載したベーパー回収型計量機（給油機）を3台導入した。



リカバリーノズルで給油しながらベーパーを回収



ノズルについている黒いブーツ部分が特徴



給油時の臭いを解消する優れた性能で快適な給油が可能に

事業の成果

本事業でペーパー回収型計量機（給油機）を3台導入したことにより、環境配慮企業ならびに安全性のPRの一環として、2019年（令和元年）6月、環境省および経済産業省が普及促進する「大気環境配慮型SS（e→AS）」のAランク認定を取得。山形県内における同認定SSは7SSのみである（2021年9月現在）。

これにより、ガソリン臭の低減が図られ、顧客からの評判もよい。本件をきっかけとした、顧客との会話の中から油外商品の販売につながっている。

また同時に、引火事故防止による安全性の確保、職場環境の向上、近隣住民への安全性の担保も実現した。

今後の展望

自動車メーカーによる燃費競争の激化にともない、ガソリン販売も減少傾向にあるなか、環境配慮型企業ならびに安全性をPRすることで、他社との差別化を図り、お客様に選ばれるSSを目指していく。

事業計画は順調に進んでいたが、コロナ禍による外出自粛や県外への移動制限により計画達成には至っていない。

今後は、燃料油の売上増加のほか、オープンウィンドウを促進しながら油外商品の販売強化・売上増加を図る。地球環境に対する関心が高くなっている現状において、石油製品販売業として当社にできることを引き続き取り組んでいく。

株式会社 菱沼

- 代表者：古沢 和明
- 設立年：1931年（昭和6年）
- 所在地：山形県山形市宮町1-4-12
- 資本金：2,000万円
- 従業員：20名
- TEL：023-622-5433
- FAX：023-622-5442
- e-mail：公式HPコンタクトフォーム内にあり
- URL：http://www.office-web.jp/hishinuma/



社屋外観

業務内容

1931年（昭和6年）創業、1958年（昭和33年）よりプロパンガス販売を開始。総合的なエネルギー供給とリフォームプランナーとして地元山形に密着した営業をしている。2021年（令和3年）7月、当社「ユアーズ宮町SS」は、元売である出光興産のSSブランド統合により「apollostation（アポロステーション）」へとVI変更を行った。